

# 教育支援センターだより

第1号 発行日 平成20年 1月15日

子どもたちの健やかな成長を願って、教育支援センターでは下記のような相談をお受けしています。

## 教育支援センター

### 教育相談

市内在住・在学の幼児から青少年までの行動・発達・子育てに関する相談に応じます。

- ・ 来所しての相談
- ・ 電話による相談
- ・ 学校を訪問しての相談

### 適応指導教室(チャレンジルーム)

学校に行けなくなっている児童・生徒のための教室です。

学校復帰に向けて不登校児童・生徒の指導・支援をします。

### 帰国・外国人教育相談室

帰国・外国人・国際結婚家庭の小・中学生を対象として、日本語指導や教育相談を行っています。



教育支援センターの入り口。  
ケヤキの大木が目印です。



## ～ 不登校が増えている原因と社会的背景 ～

教育支援センター長 松澤茂久

昨年の8月9日付の新聞各紙は、文部科学省発表平成18年度学校基本調査について、

「不登校小中学生の数が5年ぶりに増加。中学生の出現率は全生徒の2.86%と過去最高。

不登校者の数は小・中合わせて計126,764人」

と報じています。これに約11～12万人といわれる高校中退者の数を加えると、多くの児童・生徒が学校へ行かなくなっているかがわかります。

文部科学省などの調査によれば、不登校の原因として最も多いのが、いじめ、友人関係のトラブル、親子関係、教師との関係など人間関係がうまくいかないことであり、次が学力不振です。

私は不登校がこのように増えている原因や社会的背景を次のように考えています。

1. かつての貧しい時代や高度経済成長時代にあった「頑張って勉強し、就職して安定した収入を得よう、自分も社会人として成功しよう」という目標や向上心、そして、そのために我慢しようとする耐性がなくなってきた。
2. 学校に対する価値観が多様化し、「学校に行かなければならない」という義務感が薄れてきている。
3. 人間は、本来、群れで暮らすことを習性としてきた。しかし、豊かで協力・協労し合わなくても生活できてしまう今の環境が、逆に集団生活を苦手とする人間を増やしている。
  - (1) 社会における最も基礎的集団である家族の絆の崩れ
    - ① 何でも簡単に手に入る消費社会、そして少子化・核家族化という中で、家族が生活のために共に汗を流す、役割分担をするということが少なくなってきた。兄弟・姉妹など家族間で人間関係を密にしたり、揉まれたりして人間集団に慣れていく場面が減ってきている。
    - ② 家族の生活自体が個別化し、家庭における生活のリズムも崩れ易くなっている。
  - (2) テレビ・音楽機器・ゲーム機・携帯電話・パソコン、コンビニの普及
    - ① 一人でも時間が過ごせるし、一人で居ることが苦痛ではない状況になった。また、携帯・パソコンなどの普及が、対面して話をする機会を減らし、表現力が育ち難くなっている。
    - ② 生活が夜型になり、昼夜逆転になって朝なかなか起きることができない。
    - ③ 戸外での集団遊びをあまりしなくなり、子どもたちが人間関係の築き方を学び、練習する場が大幅に減少している。
    - ④ 活字(新聞や本)を読まず、直接画面の映像を見ってしまうことにより、思考力・判断力が育ち難くなり、学力低下の一因にもなっていると思われる。
4. 人間関係に不慣れな子どもたち同士が集まっているため、学校における人間関係の基盤が弱くなり、いじめ言動・行為が増えたり、過度に内にこもってしまったりして、適切な友人関係を上手く築くことができなくなっている。

このように社会環境の変化が、総体的に、向上心や耐性に欠け、体験や人との関わり不足で、傷つきやすい子どもたちを増やしてしまっているのです。その結果、人と人の信頼関係を十分に築くことができず、それ故に、自分もまた必要な人間なのだという自己有用感も実感できなくなっています。つまり、不登校は、現代の物質的に豊かで便利な社会が生み出した文明病とも言えるのではないのでしょうか。

従って、不登校はある特定の子どもだけが陥るものではなく、どの子にも起こり得る問題です。本人を責めたり、また、学校に直接関わる問題だからといって、学校だけに責任を負わせても解決できる問題ではありません。「不登校は豊かで便利な社会がもたらした社会現象であり、不登校が簡単に治る特効薬・処方箋はない」という前提の下で、大人社会が全体として社会の在り方を再考し、「自立と共生」のできる人間を育てる努力をすることこそ解決への道筋だと私は思っています。

教育支援センターは、  
「教育相談」・「チャレンジルーム」・「帰国・外国人教育相談室」  
の大きく3つに分かれています。ここでは、それぞれの特色をご紹介します。

## ① 教育相談について

教育相談について、市民の皆様からお問い合わせが多い質問に  
お答えします。



Q. どんな人が相談にのってくれるのですか？

A. 臨床心理士や教職経験者などが相談員として相談に応じています。

Q. どんなことを相談できるのですか？

A. 子どもの性格や行動、発達について心配なこと……たとえば  
・友達と遊べない・集団になじめない・学校へ行きたがらない・落ち着きがなく・乱暴である・非行や物を盗む癖がある・チック・言葉が遅い  
……といった、子どもの心や行動に関することです。  
保護者とは、子どもの行動や接し方などについて話し合い、子どもについての理解を深めていきます。

Q. 相談ってどういうことをするのですか？ただ話を聞いてもらって解決するのか疑問です。なにか役に立つアドバイスをもらえるのでしょうか？

A. 相談(「カウンセリング」といいます)の基本は聞くことです。  
まず聞き手がきちんと聞くことで、話す側も「しっかり受け止めてもらえた」という思いが持てるとそのなかから良い変化が始まります。  
実は、もっともよい解決法を持っているのはお子さんや保護者自身なのです。相談者がそのことに気づいていくお手伝いをカウンセリングではしています。

Q. 何歳までが対象ですか？

A. 幼児から18歳以下のお子様です。武蔵野市内に在住・市内の学校に在学の子どもと、その保護者を対象にしています。

### 「相談したいな」と思ったら・・・

来所での相談は「予約制」です。まずはお電話で申し込みください。

- ① お電話では、ご相談したい内容を簡単におうかがいします。
- ② センターでできることを伝え、来所の意志を確認します。(ご相談の内容によっては他の機関をご紹介しますこともあります。)
- ③ センターに来ていただく日時を決めます。

※電話での相談は随時受け付けています。

電話

**0422-60-1899**

電話相談専用

**0422-60-1922**

(月～金：9時～5時)

## ② 適応指導教室（チャレンジルーム）

☎ 0422-56-2052

チャレンジルームは不登校児童・生徒のための適応指導教室です。不登校になっている子どもたちに居場所を提供し、学習や集団活動などを行うことで、生活のリズムを取り戻し、再登校、再チャレンジへの意欲を回復させることをねらいとしています。また、訪問支援も行っています。

学習は個人の差に応じた個別学習が中心です。集団活動では、スポーツ、レクリエーション、調理、工作、音楽、栽培などをおこなっています。また、七夕、クリスマス会など四季に応じた行事活動も行います。最近では11月14日に昭和記念公園への遠足、12月17日にクリスマス会と楽しい1日を過ごしました。

活動日・時間は 月曜日～金曜日の午前9時～午後4時です。

## ③ 帰国・外国人教育相談室

☎ 0422-54-8626

所在地： 武蔵野市吉祥寺北町5-11-4  
四中学習センター3階



帰国・外国人教育相談室では、帰国・外国人・国際結婚家庭の小・中学生を対象に、日本語指導や外国語保持の支援を行っています。

具体的には、

- 要請のあった学校に日本語の先生を派遣し、個別に取り出しで支援を行っています。
- 初歩からの日本語用教科書を使い、一対一で楽しく基礎から学びます。時には、カルタやゲーム、カードなども使います。

日本語のわからなかった子ども達も、少しずつひらがな、カタカナ、漢字、言葉や文の決まりを覚え、徐々に自信を持って日本語が使えるようになります。一日も早く日本語を身につけ、友達と一緒に勉強したいと、みんな一生懸命頑張っています。

その他の支援として外国語保持教室があります。これも帰国者や外国人を対象とした教室で四中学習センターにおいて週一回行っています。英語と中国語のクラスがあります。

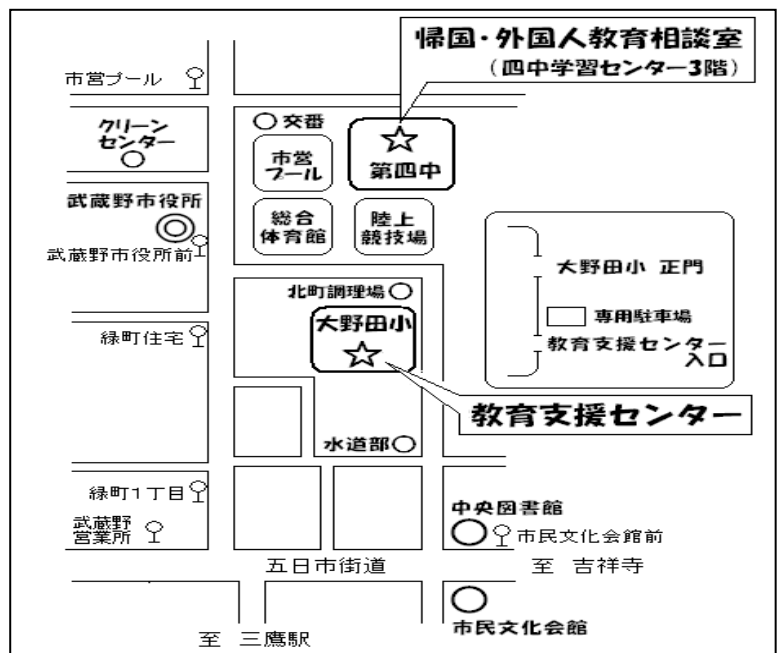
### 最寄の交通機関

#### 【教育支援センター・チャレンジルーム】

- ・ 三鷹駅北口より関東バス  
北裏ゆき・武蔵関駅ゆき・田無橋場ゆき  
→「緑町1丁目」下車 徒歩5分
- ・ 吉祥寺駅北口より関東バス  
柳沢駅ゆき(武蔵野市役所経由)  
向台町5丁目ゆき  
→「市民文化会館前」下車 徒歩5分

#### 【帰国・外国人教育相談室】

- ・ 三鷹駅北口より関東バス  
北裏ゆき・武蔵関ゆき・田無橋場ゆき  
→「市営プール」下車 徒歩3分



発行 武蔵野市教育委員会 教育部教育支援課 教育支援センター  
所在地 〒180-0001 武蔵野市吉祥寺北町4-11-37  
電話番号 0422-60-1899 FAX:0422-60-1922